

連帯・共闘「8・19行動」に参加!



札幌市内



国会議員会館前

8月19日、戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会などの呼びかけによる8月の「19日行動」として、「安倍元首相国葬反対! 改憲発議反対! 軍拡やめろ! 辺野古新基地建設中止! くらしといのちを守れ! ロシアのウクライナ侵略反対! 8・19国会議員会館前行動」が国会議員会館前で開催され、1,200名の参加者主催者発表)が結集し、JR総連はJR東労組・JR東海労・JR貨物労組の仲間と共に参加してきました。

各立憲野党の代表からのスピーチでは、日本国憲法の下で戦後77年間、戦禍に巻き込まれることがなかったことと憲法9条がある意義、自民党改憲4項目の問題、防衛費をGDP比2%以上とすることの問題などが訴えられました。さらに安倍元首相の国葬問題や、コロナ感染拡大による医療体制への早急な対応などのため、直ちに臨時国会を開くべきとの訴えがされました。

また、北海道でも戦争をさせない北海道委員会が主催の「8・19総がかり行動」が札幌市内で開催され、約200名の参加者が結集する中、北海道地協の札幌を中心に15名の組合員は、9条連の仲間とともに参加してきました。

街頭行動では、長期化し泥沼化するロシアとウクライナの軍事衝突の即時停止、憲法9条の改悪反対、国葬反対を強く訴えてきました。

JR総連は、9条連をはじめとした平和を希求する仲間と共に、憲法改悪に反対し、憲法9条を守り広げるために取り組みを進めます。

故 羽田雄一郎参議院議員の「お別れ会」



8月22日、新型コロナウイルスに感染し、2020年12月に53歳という若さでお亡くなりになられた羽田雄一郎元参議院議員のお別れの会が地元長野県上田市で開かれ、JR総連は、山口執行委員長、小林政策・政治部長が参列してきました。

羽田雄一郎元参院議員は、生前JR総連推薦議員懇談会に所属いただき、JR総連が抱える様々な政策課題の解決にむけてご尽力いただきました。現在は、雄一郎さんの弟である羽田次郎参院議員が後継者として国会でご活躍されており、JR総連推薦議員懇談会に所属いただいています。

お別れの会には多くの著名人など1500人が参列し、生前の写真がならんだ祭壇に花を手向け、早すぎる死を悼み、静かに別れを惜しまました。

九州地協「第34回定期委員会」を開催

JR総連九州地協は8月28日、北九州市の西日本総合展示場において第34回定期委員会を開催しました。昨年度の委員会は書面開催でしたので、2年ぶりの対面開催となりましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を十分におこなったうえでの開催となりました。

冒頭、西原議長より「新型コロナウイルス感染症終息は未だに見えない。私たちは指定公共交通機関で働く者として感染対策をおこなないながら、会社にも対策をしっかりと求めなければなりません。JR総連結成35年、九州地協も様々な困難を乗り越えたたかかってきた。今後、九州地協として、JR総連運動をどのように継承発展させていくかが課題である。ロシアがウクライナに侵攻し半年が経過した。犠牲になるのは私たち労働者をはじめ、社会的立場の弱い人間である。改めて職場から平和の重要性を訴えていかなければならない。このような中で3年ぶりに長崎平和行動を開催できた。九州9条連の活動も含めて、私たち一人ひとりが平和を守る闘いを創り出していかなければならない」と挨拶しました。

その後、経過報告・決算・運動方針(案)・予算(案)の提起をおこない質疑を受けた後、答弁を受け、各議案・委員会宣言は満場一致で採択され、第34回定期委員会は無事に終了しました。

今定期委員会をもって、西原議長が退任し、新たに平井議長が就任しました。退任した西原議長は、JR総連九州地協発足当初から35年間、地協役員を担っていただきました。長い間大変お疲れ様でした。

【2022年度新体制】

議長 長 平井 聡一(貨物労組)
副議長 長 東 一臣(西 労)
副議長 長 田中 一男(西 労)
事務局長 高牟禮 泰利(貨物労組)
会計監査員 下園 拓未(貨物労組)
会計監査員 大平原 一水(西 労)



東北地協「第36回定期委員会」を開催

JR総連東北地協は9月6日、盛岡市内で第36回定期委員会を開催しました。

皆本議長は主催者を代表し、「JR東日本の組織の再編と柔軟な働き方の現実や、8月3日からの豪雨に対して、労働組合として対応し、チェック機能を果たしてきた。国鉄改革では、労働組合として自らの手で展望を切り拓いてきた。地方線区の現実に対しても、この教訓を踏まえていく」などと挨拶しました。

また、来賓のJR総連山口委員長からは、8月3日以降の豪雨に対する各単組の奮闘に対する労いの言葉と現れた課題、22春闘総括を踏まえた23春闘にむけて、ウクライナ避難民キャンプを直接現地に届けてきた報告、平和についてなどのご挨拶を頂きました。

発言では、JR東労組から、有識者会議提言と線区の収支公表に対するたたかいについて、不当労働行為に対するたたかいについて、組織強化・拡大について出されました。また、JR貨物労組からは、22春闘と要員不足に対するたたかいについて、組織防衛・強化のたたかいについてなどが出されました。

事務局の答弁の後、23春闘勝利、鉄道輸送と全国ネットワークの維持、平和な社会の実現にむけて、東北地協は団結してたたかう方針を満場一致で決定しました。

JR総連東北地協は結成35周年、組織強化・拡大を勝ち取り、団結力をもって、労働者の未来を切り拓くために、奮闘していきます。

【2022年度新体制】

議長 長 皆本 起良(東 労組)
副議長 長 竹花 博樹(貨物労組)
副議長 長 泉 祐樹(東 労組)
事務局長 湯ノ目 勝(東 労組)
常任委員 畠山 翔(東 労組)
常任委員 大村 博行(東 労組)
常任委員 木村 剛(貨物労組)
常任委員 菅田 一美(貨物労組)
会計監査員 高橋 健(東 労組)



連合2022平和行動in広島

8月5日～6日、3年ぶりに連合「2022平和行動in広島」が開催されました。5日に広島県産業会館でおこなわれた「被爆77年2022平和ヒロシマ集会」には、中国地協から4名が参加しました。

開会挨拶に立った連合広島・大野会長は「平和なくして、私たちが目指す働くことを軸とする安心社会の実現は成しえない。私たち一人ひとりに今何ができるのかを考え、新たな一歩を踏み出す力を結集しよう」と述べました。

その後、黙祷をおこない、連合・芳野会長は「世界で唯一の被爆国である日本は、核兵器の非人道性を改めて明示し、核兵器廃絶の実現にむけて議論をリードすべき。連合は、平和首長会議などとも連帯・連携し、国内外の世論喚起に向けて、活動を一層強化していく」と決意を示しました。

講演では、中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターの水川恭輔氏より「核兵器使用の非人道性と核兵器禁止条約」をテーマに、核兵器不拡散条約の現状、ロシアのウクライナ軍事侵攻に関連する核兵器の危険性などについてお話がありました。

また、被爆体験証言として、広島県原爆被害者団体協議会の切明千枝子氏より、「広島は悲惨を忘れないでほしい、亡くなった子どもたちを皆さんの心の中で生かし、共に生きてほしい」と被爆後の状況や平和への想いが語られました。

最後に、連合広島から連合長崎へピースフラッグが引き継がれ、平和アピールを満場一致で採択し閉会しました。

また、中国地協では広島県協を中心に、8月3日の連合「なくそう核兵器2022平和行進」、原水禁「非核平和行進」、4日の原水禁「折鶴平和行進」、5日の原水禁「折鶴平和行進」、5日の原水禁「分科会」5会場。6日の「広島市原爆死没者慰霊式」、「原水禁世界大会ヒロシマ大会閉会総会」にも参加してきました。



連合2022平和行動in長崎

8月8日～9日、連合「2022平和行動in長崎」が3年ぶりに開催されました。8日の「被爆77年2022平和ナガサキ集会」には、九州地協から15名が参加しました。

九州地協は集会に先立ち、長崎原爆資料館を訪れ、被爆の惨状を学ぶとともに、世界の核兵器開発の歴史を学び、核兵器廃絶への思いを改めて一致させ、集会に参加しました。

連合長崎・高藤会長は開会挨拶で「核兵器の脅威は、すぐそこまで来ている。77年前、長崎で何が起きたのか心に刻んでほしい。もがき苦しむ人々に想いを馳せた時、核兵器はいらないと誰もが感じるはず。核兵器の最後の一発が無くなるまで、ともに頑張っていきたい」と述べました。

続いて、黙とうをおこなった後、連合・清水事務局長より「連合は結成以来、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現にむけて、取り組みを重ねてきた。日本は、核兵器保有国と非保有国の『橋渡し役』を自認するのであれば、核兵器禁止条約の批准と、NPT再検討会議の議論をリードすることを両輪とし、核兵器廃絶に向けた取り組みを進めるべき」と述べました。

被爆者の訴えとして、長崎平和推進協会の三瀬清一朗さんより被爆当時の状況をお聞かせいただき「平和は人類共通の世界遺産である」と訴えられました。最後に平和アピールが満場一致で採択され、平和行動in根室に向けて、連合北海道・千葉副会長へピースフラッグが引き継がれ、集会は閉会しました。

また、九州地協として9日には、岡まさはる記念長崎平和資料館を訪れ、太平洋戦争での日本の加害責任や、アジア全土での土地や資源の奪取、さきには強制連行と強制労働、従軍慰安婦、長崎での朝鮮人被爆者などの事実について学び、原爆投下時刻である11時2分、資料館前で黙とうを捧げました。その後、福岡県に移動し太刀洗平和祈念館を見学しました。太刀洗町には当時日本最大の飛行場があり、ここから多くの若者が特攻機で飛び立ち、またアメリカ軍の空襲により多くの民間人も犠牲となりました。

初めて参加した青年部員も多く、平和の大切さを心身で感じることできた取り組みとなりました。引き続きあらゆるテロにも戦争にも反対し、平和な社会をつくり上げるために活動を展開していきます。



「第23回薬害根絶デー」に参加!



集会の様相



リレートークでご挨拶する早稲田ゆき衆議院議員

8月24日、薬害根絶デー実行委員会と全国薬害被害者団体連絡協議会(薬被連)の主催で開催された「第23回薬害根絶デー」に、JR総連も参加してきました。

厚生労働省前でおこなわれたリレートークには、JR総連推薦議員懇談会所属の立憲民主党「早稲田ゆき」衆議院議員も駆け付けられ、国による薬害被害者救済の充実と、薬害を生み出さないための仕組みづくりに向けて連帯し取り組んでいくと、力強く挨拶されました。

その後、厚生労働省の前庭に建立されている「薬害根絶 誓いの碑」の前で、薬被連代表から加藤勝信厚生労働大臣に、薬害根絶にむけた要望書を手渡ししてきました。

また、日比谷図書館でおこなわれた集会では、要望書の内容についての報告、薬害を繰り返さないとして設置をされた「医薬品等行政評価・監視委員会」の活動と課題、薬害HPVワクチン訴訟の弁護団より訴訟の現状報告と、薬害HPVワクチン被害者からは激しい副反応被害に苦しんでいる現状と、一刻も早く治療薬の研究を進めてほしいとの訴えなどがされました。

JR総連は、安全で安心して暮らせる社会をめざし、これからも薬被連のみなさんと連帯していきます。

8月24日の「薬害根絶デー」とは?

1999年8月24日、厚生労働省の前庭に、「薬害根絶 誓いの碑」が建立され、サリドマイド・スモン・薬害エイズなどの悲惨な薬害を引き起こした反省と謝罪がなされました。そして、毎年8月24日を「薬害根絶デー」として、薬害の根絶と被害者救済を願い、「碑の前の誓い」を中心に「厚生労働省交渉」「文部科学省交渉」などの薬害根絶行動をおこなっています。

お詫びと訂正について

広報紙第289号(8月号)3面の、「加盟各単組の大会が終了 新三役(四役)体制の報告」の記事について、JR東海労の齊藤孝紀書記次長のお名前の記載漏れがありました。申し訳ありませんでした。お詫びし訂正いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDG 8 働きがい、経済成長、雇用

誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからもずっと。

はたらくあなたの
いちばんそばに。

R35さん

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済(全労済)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、
パソコン・スマホ、から
可能ですので、ご利用を
お待ちしております。

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険・介護保険
給与サポート保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店・伊東さつき会館

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198